

健康第一、自信と気概でやりとげよう。よい師を見つけ、

人の数倍の努力をつみ重ね、人の恩を決して忘れずに^(※1)

中第 25 回卒 岩崎 敏夫^(※2)

●東北学院大学講師 文学博士



私は旧制相馬中学から国学院大学を卒え、国語漢文の教師として磐城女子高、相馬高、相馬女子高に勤めました。磐城に居た時、はじめて民俗学という学問のあることを知り、第1回の講習会に出席、以来民俗学の創始者柳田国男先生に師事し、本職の国語のほかは半ば独力で民俗学を勉強しました。

3校に勤めている間、授業がすんでからは夜を日に継いで調査研究を続け『本邦小祠の研究』という論文にまとめ、文学博士の学位を得た時は本当に嬉しかった。その後東北学院大学に勤め、今度は国語でなく民俗学と博物館学を講義してきました。

乏しい私の経験にてらして二、三皆さんに申し述べたいことは、

1. 何よりも健康第一ということ。健康でなければ勉強の意欲もわきません。

問題意識を持たない人程困ったものではありません。

2. 志したことは必ずやりとげる自信と気概を持つこと。

やれば必ずできる。できないのは計画や考え方に甘さがあるからと思われる。二晩三晩寝なくても健康な心身ならびくともしないはずです。

3. 何事でも人より2倍3倍努力して欲しい。

私など頭が悪いから、人が朝7時に起きればできることを1時間早く6時に起きてやる。それでも間にあわない時は5時に起きてやれば必ず人に追いつくものです。

4. よい先生を見つけたらどこまでも師事すること。

私は幸に小学校から高校、大学とよい先生に恵まれた。わが一生に指針を与えて下さった人の恩は決して忘れないこと。

そして相馬人のもともと持っている優れた特性を十分に生かしていただきたいものです。

志したことはやりとげる やれば必ずできる

(※1) 創立90周年記念誌『紅の旗』 〈1988(昭和63)年9月2日発行〉

「今こそ伝えたい、希望と勇気を =OBから若駒への熱きメッセージ= 」より。

(※2) 中村出身。

(転記&※脚注 村山)